学校法人　桑沢学園
２０２２年度　事業計画

はじめに

創立者 桑澤洋子は、昭和初期から建築・室内設計・服飾等のデザインジャーナリズムの世界で活躍。その中で、1919 年に建築家グロピウスによってワイマールに設立された、造形芸術の総合学校「バウハウス」の存在を知り、その影響を強く受ける。機能性や合理性を追求したデザイン活動をすすめる中で、デザインの総合的な基礎教育と専門教育の重要さを痛感した彼女は、教育機関の実現のため努力を重ね、1954 年、各界気鋭の教育者、芸術家、デザイナーたちの協力を得て、当時としては画期的なデザインの専門学校「桑沢デザイン研究所」を設立した。さらに高度な造形教育を追求する場として 1966 年には「東京造形大学」を設立し、今日に至る。

2022 年度の桑沢学園の重点事業計画としては、専門学校桑沢デザイン研究所の教育施設として 2021 年度に取得した渋谷区神南の新校舎に係る施設改修の実施並びに運用計画の策定があげられる。これにより、教育スペースの拡充を図るとともに昼間部総合デザイン科の入学定員の増加を目指す。東京造形大学においては、授業で使用するソフトウェアの充実、実習室の環境改善などを中心に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での学内及び学外でのオープンキャンパスや進学相談会、社会連携活動などを実施していく。専門学校桑沢デザイン研究所においては、上記新教育施設を活用した教育課程の策定をはじめ、夜間部専攻デザイン科及び附帯教育を通じ、社会人が修学しやすい授業運営やリカレント教育を引き続き強化していくとともに、接続教育や社会連携に係る授業科目等の整備を実施する。また、学園全体としては、新型コロナウイルス感染症防止対策を強化するとともに、コロナ禍における学生支援や授業運営方法について引き続き検討を行う。

中期計画テーマ

1. 【埋蔵資源発掘】表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践（＝教育研究）
2. 【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり（＝学生支援、キャリア支援）
3. 【見える化】教育成果の社会発信と知識循環（＝広報、国際交流、社会連携）
4. 【やりガイ・働きガイ】多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり（＝労務）
5. 【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理（＝リスク管理）

中期計画テーマに基づく主な事業計画

東京造形大学

- **【埋蔵資源発掘】表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践**
  (1) 遠隔授業の導入に伴う授業運営体制の検証。
  (2) 大学院修士課程における新教育課程の検討。
  (3) Office365 (PC ソフト) サブスクリプション契約（3 年契約 1 年目)、教職員・学生の同ソフトの安定した使用環境の確保。
  (4) 7-406、8-205、8-206、8-409 教室 音響機器更新、デジタル化の推進。
  (5) 学生の制作環境向上を目的とした 7-106 教室の作業台天板交換及び木工制作を行うための頑丈で安定した作業台の整備。

- **【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり**
  (1) キャリア支援イベントへの学生の更なる参加促進を目的とした、オンライン・対面を併用したイベント運営。
  (2) 低学年（学部 1,2 年生）を対象としたセミナーの継続的な実施及び低学年から参加可能なキャリア支援イベントの拡充。
  (3) 学生一人ひとりの学年や就職活動状況に応じたキャリアカウンセラー・職員によるキャリア相談体制の充実。
  (4) 年間を通じた学生個々の就職活動状況把握の強化。

- **【見える化】教育成果の社会発信と知識循環**
  (1) 感染症拡大の防止策を十分に講じた上での対面活動を重視した学生募集活動の実施。
  (2) 「志願者が求めている情報を得られる冊子」をテーマとした、大学案内の掲載内容及び誌面の再構成並びに本学の教育内容・教育環境や学生生活に関する情報の社会発信。
  (3) 建学の精神をはじめとする本学の教育理念に基づく教育研究成果の積極的な社会発信。

- **【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理**
  (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大期における政府の水際対策に即した留学生の入国支援強化。
  (2) 学内における感染クラスター発生を防止する観点からの課外活動の指導。
  (3) 学生および学内関係者に新型コロナウイルス感染者が発生した際の拡大防止に向けた体制強化。

(4) ソーシャルメディア活用におけるリスク管理として、学内関係者を対象とした SNS 活用に関するガイドラインの策定。
(5) 基幹インフラ、稼働システムの維持及び運用向上。

専門学校桑沢デザイン研究所

- **【埋蔵資源発掘】表現を通じて私と他者を発見する造形教育の実践**
  (1) 夜間部専攻デザイン科の教育課程を通じた社会人が修学しやすい授業運営の実施。
  (2) 夜間部附帯教育を通じたリカレント教育の強化。
  (3) 2021 年度に新たに取得した渋谷区神南の新教育施設を活用した教育課程の策定。
  (4) 二級建築士試験・木造建築士試験の受験資格・免許登録資格に向けた授業科目の新設。
  (5) 教員の研究成果を取りまとめた研究レポートの公開。

- **【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり**
  (1) 新教育施設の運用計画の検討、及び既存設備の年次計画による改修。
  (2) 奨学金制度再編の検討。
  (3) 授業改善アンケートの実施。

- **【見える化】教育成果の社会発信と知識循環**
  (1) オンラインツールを活用した遠隔地の志願者に対する PR、説明会の実施。
  (2) 公式 Web サイト、SNS 等を用いた情報発信。
  (3) Web 出願による志願者の利便性の向上。
  (4) 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえた、オンラインによる国際交流活動の展開。
  (5) 「卒業生作品展」など、展覧会を通した教育成果の情報発信。
  (6) 社会連携事業「渋谷みやげ」[1]の正課教育の授業科目化。

- **【やりガイ・働きガイ】多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり**
  (1) 新型コロナウイルス感染防止対策として、老朽化した空調設備の年次計画による入替。

- **【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理**
  (1) 新型コロナウイルス再拡大時の授業運営方法に関する検討。

[1] 渋谷区・障害者就労施設・桑沢デザイン研究所が連携し、「福祉×デザイン×テクノロジー」の組合せで渋谷区ならではのみやげ開発に取り組む事業

- **その他**

  (1) 昼間部総合デザイン科の入学定員増を目的とした学則変更。

学校法人　桑沢学園

- **【森林公園計画】対話が生まれる自由闊達な空間づくり**

  (1) 渋谷新教育施設の改修並びに運用体制の整備。

  (2) 施設計画と連動した予算編成の実行と定着化。

  (3) 第 3 号基本金の運用果実を原資とした学事・奨学資金事業再編の検討。

- **【やりガイ・働きガイ】多様な価値観を基盤にした仕事環境づくり**

  (1) 職場環境改善プロジェクトの推進。

  (2) 一般事業主行動計画及び法改正に基づく、有給取得率の向上及び多様な働き方を推進する環境整備。

  (3) 教職員 WEB 明細導入と定着化。

  (4) 法定調書並びに年末調整を中心とした給与業務の再構築と整備。

- **【万が一のそなえ】社会変動に迅速に対応するリスク管理**

  (1) 予算・決算の財務分析による課題抽出と課題に対する予算編成の検討。

  (2) 資産運用の運用方針の再検討と実行。

以上